

府民の声が生きる

あったか府政を

きぬ がさ よう こ

衣笠 洋子 (民主府政の会 代表委員)



出馬表明から1ヶ月。私、衣笠洋子は1万人の方と直接対話をしてきました。どこでも、府民の切実な声がうずまいています。

府民一人ひとりが声を上げれば、政治はかわります。
力をあわせ、府民にあったか府政を実現しましょう。

春をよぶ

府民のつどい

とき 2月16日(木)

午後6時開場／6時40分開会

ところ 京都府立体育館 (京都市北区)

ぜひおこし下さい 入場無料



●今の政治について、ご意見やご要望をお書き下さい。

Blank box for writing opinions and requests.

●今の京都府政について、あなたはどのように思いますか。

- 1.大いに満足 2.ある程度満足 3.少し不満 4.大いに不満
5.どちらとも言えない

TEL:075-353-7055 FAX:075-353-6366



引き続き

府民アンケート
にご協力下さい

「民主府政の会」では、みなさんの声を生かした京都府政を実現するため、「アンケート」活動に取り組んでいます。この用紙にご記入いただき、電話やファックスでお寄せ下さい。

3万通を超えるご返信、ありがとうございました。

あたらしい
民主府政

府民本位の新しい民主府政をつくる会

京都市下京区河原町通五条上ル西橋詰町

メール minshufusei@kamogawa.seikyou.ne.jp ホームページ <http://minshufusei.jp/>

第635号 2006年2月13日 民主府政の会は次の見解を発表しました。

2006年(平成18年)2月2日(水曜日)

政治をひらく

毎日新聞

第17版(第17面)

潮目変わり守勢に

小泉政権

ほころび次々

所得格差が拡大

74%

「潮目変わる」「末期症状」と報道するマスコミ

効率最優先。ムダな公共事業は温存

現知事は、リハビリ治療でよく知られた、府立洛東病院をわずか半年の議論で廃止。生活保護世帯への夏期・歳末見舞金をなくすなど、福祉・医療・教育を切り捨ててきました。一方、京都市内高速道路や舞鶴和田ふ頭など、ムダな公共事業を温存・推進しています。

衣笠洋子が、6つの提言

「何とかしてほしい」「子どもを育てやすい街にしてほしい」。

いまの政治、府政への怒りと不満、切実な願いが、どこでもわき上がっています。

衣笠洋子は、府民一人ひとりに光の届く京都府政へ転換するため、「府政改革への6つの提言」を発表しました。

現知事

「小泉改革に同感」
自民党本部から推薦も

小泉「改革」で国民の「所得格差」が拡大。「格差拡大を放置すれば…社会は分裂に進む」(「朝日」06年2月5日)とマスコミも報道するなど、批判が広がっています。ところが、現知事は「小泉改革に同感」と「格差社会」を当然視し、「勝ち組」を応援。

2月2日には、自民党本部で、小泉・武部氏から推薦を受けました。

「勝ち組企業」を応援

現知事は、4億円あった伝統産業予算を2億円余へ半減。一方、もうけも体力もある企業の誘致には最高20億円を補助する制度をつくりました。すでに村田製作所の本社移転に1億5千万円も補助しています。

府民一人ひとりに光の届く府政を

- ◆府民のいのちと安全最優先。安心して住み続けられる京都を実現します。
- ◆子育て応援。医療・福祉・教育の充実。みんなが元氣な京都を実現します。
- ◆中小企業・地場産業・農林漁業応援。青年の雇用・働くルールを改善します。
- ◆ムダ・環境破壊ストップ。京都議定書にもとずくまちづくりをすすめます。
- ◆府民が主人公。自治・公開・参加をすすめます。
- ◆憲法9条を守り、京都から平和を発信します。